

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (紀要論文) チームビルディング研修 受講前後における新入生 の自己意識変化	共著	2024年 in press	広島国際大学基 盤教育センター紀 要	広島国際大学薬学部の新入生に向け、自己表現、相互理解、自己表現、モチベーションアップ、人間関係の深化を図るべく、チームビルディング研修 (TB 研修) を実施していた。研修前後における学生の自己意識変化を解析した。その結果、TB 研修の実施は、薬学生のモチベーションやコミュニケーション力の向上に寄与し、学生生活の不安解消に貢献することが考察された。 (15 頁) (兒玉安史、金子哲夫、 <u>山中浩泰</u> 、山口雅史) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
2 (学術論文) Molecular epidemiological and pharmaceutical studies of methicillin- resistant <i>Staphylococcus aureus</i> isolated at hospitals in Kure City, Japan	共著	2022年2月	Access Microbiology 4(2) 000319 Microbiology Society	国立病院機構呉医療センターとの共同研究で、主に 2017 年から 2019 年の三年間にかけて同センターで分離された 1000 株を超えるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 株から 237 株についてパルスフィールドゲル電気泳動法によるゲノム解析並びにいくつかの病原遺伝子の保有率等を調査した。さらに、抗菌薬の使用状況と分離率との関係についても検討した。 (15 頁) (前田龍人他、著者計 12 名、 <u>山中浩泰</u> 【責任著者】) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
3 (学術論文) <i>Aeromonas sobria</i> serine protease degrades several protein components of tight junctions and assists bacterial translocation across the T84 monolayer	共著	2022年2月	Front. Cell. Infect. Microbiol. 12 824547 Frontiers	<i>Aeromonas</i> の組織侵入におけるセリンプロテアーゼ (ASP) の作用に関し、TJ 構成タンパク質に注目して解析した。その結果、ASP が上皮バリア破壊を助長すること、TJ の構成成分として細胞間接着に重要に機能する因子のうち、ASP が claudin-7 や ZO タンパク質 (ZO-1、ZO-2 および ZO-3) の分解に関わることを明らかにした。 (15 頁) 上田充展、小林秀丈、清家総史、高橋栄造、岡本敬の介、 <u>山中浩泰</u> 【責任著者】) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
4 (学術論文) Outer membrane vesicles released from <i>Aeromonas</i> strains are involved in the biofilm formation	共著	2021年1月	Front. Microbiol. 11 613650 Frontiers	<i>Aeromonas</i> 属菌のバイオフィーム形成における外膜小胞の影響に関して研究した。その結果、菌の外膜から遊離する膜小胞が <i>Aeromonas</i> のバイオフィーム形成を助長する可能性を見出した。 (14 頁) (清家総史、小林秀丈、上田充展、高橋栄造、岡本敬の介、 <u>山中浩泰</u> 【責任著者】) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。
5 (学術論文) <i>Aeromonas sobria</i> serine protease decreases epithelial barrier function in T84 cells and accelerates bacterial translocation across the T84 monolayer in vitro	共著	2019年8月	PLOS ONE 14(8) e0221344. Public Library of Science	<i>Aeromonas</i> の組織侵入におけるセリンプロテアーゼ (ASP) の寄与について解析すると共に、ASP が作用する因子について、AJ 構成タンパク質に注目して解析した。その結果、ASP が上皮バリア破壊を助長すること、AJ の構成成分として細胞間接着に重要に機能する因子のうち、ASP が nectin 2 や afadin の分解に関わることを明らかにした。 (21 頁) (小林秀丈、清家総史、山口雅史、上田充展、高橋栄造、岡本敬の介、 <u>山中浩泰</u> 【責任著者】) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可。